

MEETING

9月度安全大会

■山下健二部長 安全



8月は県内で猛暑日が連続23日も発生するほど異常な暑さでしたが、現場の熱中症対策・個人の熱中症予防が功を奏して、熱中症患者も発生せずになりました。9月も引き続き安全への配慮を怠ることなく、現場管理をしてもらいたいと思います。

◎今月の安全重点目標

【土木】

新規入場者教育の徹底、安全施工サイクルの徹底

【建築】

飛来・落下災害防止、保護具の完全装着
新規入場者教育：資料に基づく教育と現場の特性等教育を確実に。

安全施行サイクル：安全施行サイクルを確実に実施していくことが災害防止につながります。
飛来・落下災害：落下しやすい場所に物を置かせないことが大事です。

保護具の完全装着：コンクリートカッター使用時の防塵マスク、振動作業での保護手袋の着用が基本。

労働者の高齢化に伴い転倒災害が増加しているので注意喚起をして下さい。また、刻々と変わる現場の状況に合わせた安全対策を進めて、今月も無災害でお願いします。

衛生

10月は「全国労働衛生週間」ですが、9月は「全国労働衛生週間準備月間」です。平成27年度の業務上疾病は7,368人(120名死亡)、建設業：641名(28名死亡)

今年のスローガンは「健康職場つくる まもるは みんなが主役」です。

健康管理は個人の責任です。現場は粉塵、振動、有機溶剤、酸欠等で業務上疾病の災害が発生する環境にあります。それらの作業時は適切な保護具を使用させることが必要です。現場の管理・監督者が有害性を説いて使用させることが労働者の健康管理につながります。

車両

9月21日～30日は秋の全国交通安全運動期間です。



県内の交通事故数は、28日現在 4,830件(-340) 死者37名(-11) 負傷者 5,746名(-403)

高齢者の事故が多い特徴は変わっていません。現在、霧島署管内は死者7名(+2)県内ワースト1という状況で、事故防止のために昼夜を問わず特別取締中です。事故を起こさないように安全運転に努めるとともに、違反をして検挙されないようにして下さい。

9月安全重点「止まって確認・譲り合いの励行」「飲酒運転・スピード違反の厳禁」「脇見・漫然運転の厳禁」

防災の日

4月に熊本地震が発生しました。災害の状況は皆さんご承知の通りです。日本は4つのプレートが重なり合う所に位置しているので、活断層だらけで地震大国です。比較的活断層が少ない鹿児島県ですが、身近なところでは、鹿児島湾東縁断層帯は「若尊～垂水に伸びる活断層」です。したがって、M7クラスの地震が発生してもおかしくありません。

身近な熊本地震を機に、家庭で防災の備えをすることが大事です。

※経済産業省などが簡易トイレやトイレトペーパーの備蓄を呼びかけています。

9月も無災害で終わるように「現場の安全管理」をお願いします。

住宅事業部の永元勇輝氏を先頭に「やるべき事と基本事項は 守るヨシ!!」とスローガン「活力集団」を全社員で唱和した。



各部と関連会社より

■鎌田石油テクノセンターSS 酒匂 健司マネージャー

鎌田石油ではエンジン洗浄剤のキャンペーンを行っております。給油口から燃料と一緒に注入しますとエンジン内部を清浄し、燃費、加速性の向上が期待されます。是非この機会にお試し下さい。また、まだまだ続く残暑に対してはエアコンのリフレオンが効果的ですので、こちらも合せてご相談下さい。

